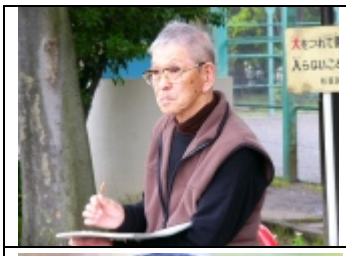
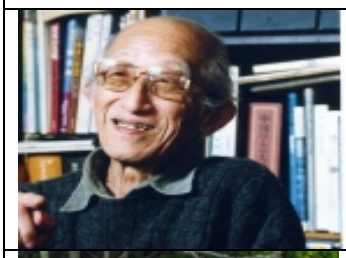
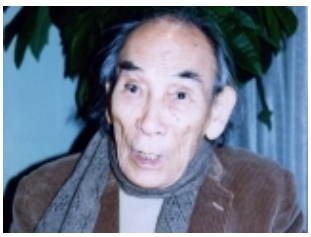
□まちだ雑学大学第1回講座　　*2010.9.03　町田市公民館*

あの人は　こんな人でした（私の取材メモから）

山　本　稔

	佐藤忠良（1912-　） 彫刻家　宮城県。舟越保武らと新制作彫刻部を創設。1948 年にシベリア抑留から帰国。1960 年に高村光太郎賞　81 年(s51)に国立ロダン美術館で個展、東京造形大を開設。90 年(h2)宮城県美術館に佐藤忠良記念館。芸術院会員、名誉都民など辞退。生涯現役を貫く。娘のオリエは俳優、98(h9)年善福寺のアトリエで。
	昭和天皇（1901-1989） 1926(T15)大正天皇の死去で践 (senso)。終戦の詔勅、人間宣言、平和条約締結記念日に退位を否定。1975(s50)訪米、エリザベス女王来日。1976(s51)在位 50 年記念行事。1973 年(宮崎全国植樹祭)から７７年まで宮内庁を担当。皇太子夫妻のオーストラリア、ニュージーランドの旅、天皇訪米に同行取材。
	白川　静（1910-2006） 漢字学者。福井県　甲骨文、金文から漢字の始原を訪ね、古代社会、歴史に光をあてる。70 年に「漢字」(岩波新書)。立命館大教授を退職後に「字通」「字訓」「字通」の 3 部作を刊行。菊池寛賞、朝日賞、98 年に文化勲章。「文字は世界を記憶する方舟です」　H14 年に 96 歳で死去。H10 京都の自宅で。
	串田孫一（1915-2005） 詩人・.随筆家　東京都。上智大では遠藤周作らを教え、東京外語大教授で山岳部長を兼務。かたわら山のエッセイを書く。山の雑誌「アルプ」を終刊まで編集。著作は「串田孫一集」（８巻　筑摩書房）など５００冊。長男、和美は新劇の演出家。1983(s58)年から 97(h8)年にかけ小金井の自宅で。
	平山郁夫（1930-2009） 日本画家。広島県。中学 3 年のとき広島で被爆、美術学校では安田靫彦らに師事、東京芸大教授時代に「シルクロード」に魅せられ、玄奘三蔵の足跡を追体験。原爆で喪った学友たちへの鎮魂の想いをこめて薬師寺の玄奘三蔵院に大壁画。芸大学長だった 2005（h17）年に鎌倉の自宅で。
	まどみちお（1909-　） 詩人　山口県徳山町。北原白秋に認められ戦前からこどもの詩を書く。戦前に「やぎさんゆうびん」、戦後に「ぞうさん」(1951)「１年生になったら」。美智子皇后の翻訳がきっかけで,199４年、初の国際アンデルセン賞を受賞。1997(h8)年に新百合ヶ丘駅前で。
	スタニスラフ・ブーニン(1966-　) ピアニスト　ロシア、ドイツに亡命（1988)。「第 11 回ショパン国際ピアノコンクール」(1985 年　ワルシャワ）１９歳で初優勝。翌年.に来日、サントリーホールでの演奏で熱狂、「ブーニン・シンドローム」といわれた。来日の機会が増え、世田谷に住居を持つ。2005(h17)に世田谷の松本記念館で